やまあい -yamaai-

一般社団法人　新潟県臨床検査技師会中越支部　　令和７年　12 月　24 日　第　149 号

「アオーレで知ろーれ糖尿病 2025」

長岡市医師会主催の糖尿病イベント「アオーレで知ろーれ糖尿病 2025」が令和７年 11 月 8 日(土)に長岡駅前アオーレ長岡にて開催されました。

メイン会場である市民ホール A にて日頃長岡市内各施設で糖尿病診療に従事されている医師の先生方による講演が行われ、会場外のエントランススペースにて長岡市歯科医師会、看護協会、栄養士会、長岡市健康福祉課の各団体とともにブースを出展しました。

我々新潟県臨床検査技師会中越支部は無料血糖測定を担当し、中越支部役員 5 名と技師会員 3 名の 8 名で来場者の血糖測定を実施しました。150 名ほどの来場者のうち当支部ブースには 64 名が訪れ血糖測定を体験されましたが、糖尿病に関連するイベントということもあり来場者の多くは市内の医療機関を受診されている方で血糖値についてよく理解されている方が多い印象を受けました。

血糖測定は医師の監督下で行い、多くの方は正常範囲でしたが、約 1 割の方が血糖値 200mg/dl 以上と高値を示し、来場者全員に実務委員が丁寧に結果の説明を行っていました。中でも糖尿病療養指導士および指導士の資格取得を目指す技師会員が来場者一人一人により親身に対応される姿に、あらためて中越支部会員のスキルの高さを感じました。

講演前後の短い時間ではありましたが、測定中の事故やトラブルもなく無事終えることができ何よりでした。来年度以降も同様のイベントは開催の見込みであり、引き続き中越以外の支部からも広く実務参加希望者を募り、一人でも多くの技師会員に経験を積んでもらえたらと考えています。

血糖測定の様子！

令和７年度新臨技中越支部ふれあい研修会

令和７年１２月１３日(土)、社会福祉法人恩賜財団 済生会県央基幹病院様にて「令和7年度新臨技中越支部ふれあい研修会」を開催いたしましたので、ご報告いたします。

【講演】：「臨床検査技師がはじめる生成AI活用の第一歩 ～文章作成から発表準備まで～」

講師：新潟県立新発田病院
志賀 篤　様

昨今、何かと話題になっている生成AIをテーマに、資料作成や学会発表にどのように活用できるのか、講師の方よりご講演をいただきました。

特に印象に残ったのは生成AIを扱う上では的確な指示(プロンプト)が重要であるという点です。今までは「〇〇の文章を作成してほしい」などの曖昧でぼんやりとした指示で生成AIを使用していましたが、「どの立場で（役割）」、「何を達成したいのか（目的）」、「どのような背景で使うのか（文脈）」、「守るべき条件は何か（制約）」、「どのような形で出力するのか（形式）」を具体的に示すことによって、質の高い回答が得られると分かり、これらの点を心がけていきたいと感じました。

また、生成AIには様々な種類があり、得意、不得意があることも印象に残りました。今までは一つの生成AIに文章作成からデータ分析まで広い範囲のことを行わせていましたが、文章生成やアイデア出しを得意とするChatGPT、データ分析を得意とするGemini、スライド作成を得意とするGammaなど生成AIの得意分野に合わせて使っていく必要があると感じました。

さらに、生成AIは文脈理解や倫理的判断ができず、過去のデータや誤ったデータを出力してしまうことがあるため、出力されたものを鵜呑みにするのではなく、データのソースを確認し、最終的な判断は人の手で行う必要があるということも生成AIを扱う上では頭の中にいれておかなくてはいけないと学びました。

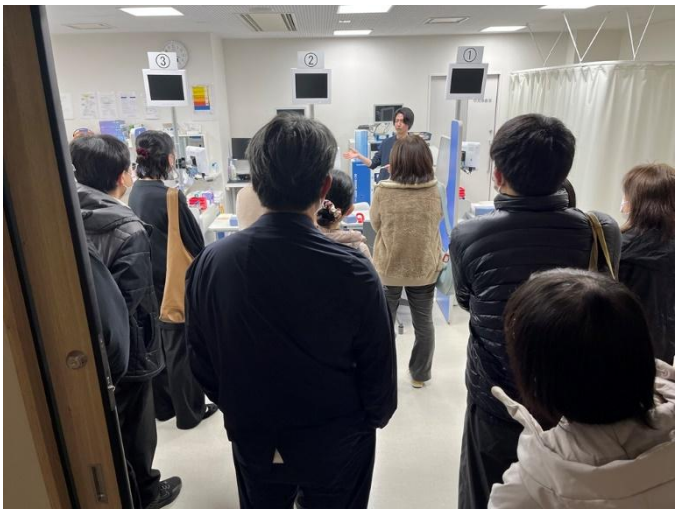
このように注意すべき点もある一方、生成AIの使い方次第では、人は人にしかできない仕事に集中できるようになり、結果として全体の効率化につながる可能性を感じました。例えば、アイデア出しや文章の案、データ収集などの人が行うとかなり時間がかかってしまうことも、生成AIが行えば数分で行うことができ、人はそこからアイデアを広げ、収集されたデータから考察を深めることができる。これは単なる省力化ではなく、仕事の質を高めることにもつながると感じました。

今回、講演の中で実際にいくつかの使用例を提示していただき、このような使い方であれば生成AIを業務に活用できる日も近いと感じることができました。その中から一つ、特に驚いたものを紹介します。それは生成AIを用いて心電図の解析アプリを作り、それ

についての学会発表スライドを作製するというものです。アプリケーションすらもAIを用いればこうも簡単に作成可能なのかととても驚きました。スライドに関しても、AIが勝手に要点を3つに分けて作成しており、大まかな構成を作るのにとても向いていると感じました。

講義終了後、生成AIを実際触る時間も設けられており、生成AIのパワーを存分に体感できるいい機会となりました。専門分野ではないのに今回、講師として解説いただいた志賀様、大変ありがとうございました。

講演後に、県央基幹病院検査部様のご厚意で、検査室の見学ツアーを行いました。県内で一番新しい総合病院ということもあり、患者受付から検体搬送、検査までの手順を機器を見ながら詳しく教えていただきました。自施設でも参考にできそうなところは活かしていきたいと感じました。ありがとうございました。



※検査室の写真につきましては、県央基幹病院様より掲載許可をいただきました。
ありがとうございました。

（文責：長岡赤十字病院　田村正史（中越支部長）
長岡赤十字病院　鈴木里奈
JA新潟厚生連　長岡中央綜合病院　長谷川雄也・水落ゆきな）

中越支部　今後の活動予定

・令和8年3月14日（土）「令和7年度支部講演会・通常総会」ハイブ長岡2階
・令和8年7月「令和8年度中越支部フォーラム（学術研修会）」